

均等待遇の 実現に向けて

非正規労働者の権利実現全国会議
in 東京

主催：非正規労働者の権利実現全国会議 <http://www.hiseiki.jp>

2012年7月21日（土）13:00～16:45
明治大学・駿河台キャンパス リバティータワー1101号

入場無料・申込不要

開会挨拶（脇田滋・龍谷大学教授）

報告① 「若者の労働実態」（川村遼平・NPO 法人 POSSE）

講演「同一価値労働・同一賃金を

実現するための理論的・実践的課題（仮）」

（遠藤公嗣・明治大学教授）

質疑応答・会場発言

報告② 「最低賃金の底上げに向けて（仮）」

（横浜最低賃金裁判の関係者）

報告③ 「新たな団結力と市民力の広がり（仮）」

（ソニー仙台雇い止め事件の関係者予定）

討論・意見交換

「非正規」で働く人の割合が年々増加しています。

いまや全労働者の4割が「非正規」であり、

特に若い世代についてみれば、過半数を突破しています。

すべての人が「正社員」になるという前提はもはや現実的ではなくなっています。

とするならば、

「正規」と「非正規」の格差是正、「同一価値労働・同一賃金」の実現こそが
いま重要な課題として取り組まれるべきではないでしょうか。

最低賃金関連の裁判に関するニュースは、こちらのブログで紹介しています。

<http://kanarou.blog.fc2.com/>

均等待遇の 実現に向けて

非正規労働者の権利実現全国会議 in 東京

「非正規」で働く人の割合が年々増加しています。いまや全労働者の4割が「非正規」であり、特に若い世代についてみれば、過半数を突破しています。すべての人が「正社員」になるという前提はもはや現実的ではなくなっています。とするならば、「正規」と「非正規」の格差是正、「同一価値労働・同一賃金」の実現こそがいま重要な課題として取り組まれるべきではないでしょうか。

理念としての「同一価値労働・同一賃金」が論じられることはあっても、では実際にどうやって、これまで日本企業で支配的であった年功給・職能給の賃金体系から、「同一価値労働・同一賃金」の賃金体系へと移行していけばよいのか、という具体的かつ実践的な課題については、十分な検討がなされていません。

非正規全国会議 in 東京では、まず、若い世代の労働者のおかれている現実について、NPO法人POSSEからレポートしていただきます。

つづいて、「同一価値労働・同一賃金」分野の研究における第一人者でいらっしゃる遠藤公嗣教授（明治大学）から、理論的かつ実践的な観点からのご講演いただきます。

後半では、劣悪な日本型「非正規」雇用を是正するためには最低賃金の底上げが不可欠であるとして「時給1000円以上」を求めて立ち上がった「原告100人、サポーター1000人」の取り組み（横浜地裁で係属中）や、震災を口実に雇い止めを通告された22人が労働組合に結集し、毎月、雇用延長しながら支援の輪を市民に広げ、遂に雇い止め撤回を勝ち取った取り組みの報告など、最近の市民巻き込み型の元気な労働運動についての議論も予定しています。

プロフィール

遠藤公嗣（えんどう こうし）

明治大学教授。専門は雇用関係論、人的資源管理論。著書に『賃金の決め方』（ミネルヴァ書房、2005年）、『日本の人事査定』（ミネルヴァ書房、1999年）など。

脇田滋（わきた しげる）

龍谷大学教授。専門は労働法、社会保障法。著書に『ワークルール・エグゼンプション』（学習の友社、2011年）、『「非正規」をなくす方法』（共著、新日本出版社、2011年）など。

川村遼平（かわむら りょうへい）

NPO法人POSSE 事務局長。POSSEは若者の「働くこと」に関する様々な問題に取り組むNPO法人。著書に『ブラック企業に負けない』（旬報社、2011年）など。

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満 3-14-16
西天満パークビル 3号館 10階 北大阪総合法律事務所内
非正規労働者の権利実現全国会議
TEL 06-6365-1132 FAX 06-6365-1256

アクセス



【住所】

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

【最寄駅からのアクセス】

- 中央線・総武線、丸の内線／御茶ノ水駅
下車徒歩3分
- 千代田線／新御茶ノ水駅 下車徒歩5分
- 三田線・新宿線、半蔵門線／神保町駅
下車徒歩5分